

世界の主な火山活動

平成 25 年（2013 年）11 月に噴火したと報告された主な火山（日本を除く）は下図のとおりである。

エトナ (Etna) イタリア (図中 A) 標高 3,330m

11 月 5 日以降、新南東火口からの噴火が繰り返し発生している。

10 日の夜からストロンボリ式噴火が活発化し、11 日 05 時 00 分には活動の最盛期となった。この活動により、火山灰や小さな噴石が東側と北東側に降下し、多量の溶岩流が新南東火口から南へ流下した。

また、17 日、23 日及び 28 日にも新南東火口から突発的な噴火活動が発生し、ストロンボリ式噴火と溶岩噴泉が発生した。

シナブン (Sinabung) インドネシア (図中 B) 標高 2,460m

11 月 3 日 01 時 26 分に噴火が発生し、噴煙が海拔 7 km まで上昇した。この噴火により、火山から 3 km 以内の集落から 1,681 人の住民が避難した。この活動を受けてインドネシア火山地質災害軽減センター (PVMBG) は、警戒レベル (1～4 の 4 段階の指標) を 2 から 3 に引き上げた。

その後も断続的に爆発的噴火が発生し、18 日及び 19 日の爆発的噴火では、それぞれ海拔 10km を超える噴煙が観測された。

20 日以降も爆発的噴火が繰り返し発生したことを受けて、11 月 24 日には PVMBG は警戒レベルを 4 に引上げ、火口から半径 5 km に近付かないように警告した。11 月 25 日現在、火口から 5 km 以内に住む 20,270 人のうち、17,713 人が避難所に避難している。

(以上、米国スミソニアン自然史博物館の GVP (Global Volcanism Program) による。日付は全て現地時間。火山名の読み方は、原則として気象庁：「火山観測指針 (参考編)」による。)

